

一般社団法人 mysole®協会理念

はじめに

神戸装具製作所として地域に根ざした活動を始めてから11年。そして mysole®協会の設立からは9年が経過し、その間 mysole®事業として全国で累計約4万足以上のオーダーメイドインソールを作製し、多くのお客様の歩行や生活を支えて参りました。ここまで歩みを続けられたのは、共に取り組んでくださった医療関係者の皆さん、日々ご利用いただいているお客様の存在があってこそであり心より感謝申し上げます。

mysole®協会はお客様の利益を最優先に、病期や症状の特性に応じて理学療法士と義肢装具士が連携し、適切なインソール提供を行うことの重要性を創業当初から訴えてきました。インソール作製は単なる物販ではなく、医療専門職の知識と技術に裏打ちされた介入であるべきとの考えを軸に私たち「正確な評価に基づいた適正な介入」を今後も一貫して追求して参ります。

クリーンな活動と制度順守

当協会は、理学療法士法及び作業療法士法ならびに義肢装具士法その他医療に関連する法令の内容を踏まえて、理学療法士及び義肢装具士その他医療従事者が協力体制の下に、同法令に抵触しない範囲内の活動を徹底し、正当な制度枠組みに沿った安心・安全な仕組みを整えています。

さらに、顧問弁護士監修のもとで法令遵守セミナーを開催し、会員全体でコンプライアンス意識を高めています。また、地域の医師からも理解と協力を得ながら活動を進め、医療連携の透明性と確実性を担保しています。

専門職の融合と社会的意義

当協会は、義肢装具士の専門性と理学療法士の専門性を融合することにより、お客様にとってより良い製品を提供できると考えています。義肢装具士法には「医師その他の医療関係者との緊密な連携」が明確に定められており（義肢装具士法第39条）、理学療法士との協働はまさにこの理念に合致するものです。

かつてリハビリ室に装具作製用の道具や材料が備えられ、理学療法士が装具支援に関与していた歴史があります。当協会は、理学療法士が有する本来の専門性を現代の臨床に即して再構築し、義

肢装具士をはじめとする他の医療従事者と協力体制を構築していく中で、再び活かしていくことをを目指しています。

また、理学療法士と義肢装具士、それぞれの専門性が融合して生まれた mysole®メソッドは単なる技術体系にとどまらず、義肢装具士、理学療法士の臨床スキルを広げ、新たな役割を切り開く可能性を秘めています。

いま、医療制度維持の観点、また義肢装具士不足やその問題に起因する地域偏在といった課題が深刻化しています。私たちはその現実を前に現場任せにせず「制度」として持続可能な仕組みを築くため、各種団体や政界への働きかけも積極的に行ってています。

装具設計から動作改善介入にまで視野を広げた“未来型の義肢装具士”、動作分析を軸にフィッティングまで見通せる“未来型の理学療法士”。 mysole®協会は、そんな新しい専門職像を実践の中で形にしていく場です。私たちの理念に共感し、次世代の地域医療を共につくりあげてくださる義肢装具士・理学療法士の皆様との出会いを心から願っています。

品質保証とエビデンスの構築

当協会は、経験則のみに頼らず、科学的根拠に基づく技術提供を基本姿勢としています。 mysole®マイスター制度を通じて臨床力を高め合い、品質向上セミナーを定期的に開催することで、現場で得られた知見と最新の研究成果を融合。さらに、大学や研究機関との共同研究を推進し、インソール介入効果をデータ化してエビデンスを積み上げています。これにより、品質向上と社会的信頼の確立を目指しています。

mysole®協会は、時代の変化と共に進化しながら、お客様一人ひとりに寄り添う活動を続けていきます。単なるインソール提供にとどまらず、生活の質向上や健康寿命の延伸に寄与する専門職ネットワークとして、理学療法士・義肢装具士双方の可能性を最大限に引き出す教育と環境整備を推進します。

日本の医療制度への貢献、そしてその先に全人類の足元から全身における健康への貢献を目指し、社会に求められるインソール支援体制の確立を通じて継続的な社会貢献を果たしていく事が我々の使命です。

私たちの活動は、医師を中心とした医療従事者が互いの専門性を尊重しながら協働することによって、お客様ファーストの支援を実現するという、医療本来のあるべき姿を体現するものです。

2025年10月 株式会社 神戸装具製作所

一般社団法人 mysole®協会